

## 冬みち地域連携事業補助業務 特記仕様書

### 1 業務目的

本業務は、地域の除雪における課題の解決に向け、地域力を組み合わせて地域の実情に沿った各種取組を展開する「冬みち地域連携事業」において、事業を遂行するための補助を行うものである。

＜「冬みち地域連携事業」における本業務関連の取組＞

#### (1) 小学生を対象とした雪体験授業の実施

将来のまちづくりを担う子どもたちが札幌の雪対策や冬の暮らしに関心を持ち、除雪に対する意識が浸透するよう、小学生を対象とした雪体験授業を実施する。

※雪体験授業とは、職員が除雪について説明する出前授業（従来型の出前講座の小学生版）に加えて、通学路の危険箇所のマップ作り、苦情などに対応する除雪説明実習などの体験学習を併せた総合学習である。

#### (2) 情報発信

冬みち地域連携事業での取組内容のほか、除雪の体制や基準、ルール・マナーなど、除雪に関する諸情報を地域に周知するため、リーフレット等を用いた情報発信を行う。

### 2 業務内容

#### 【雪体験授業補助】

#### (1) 業務内容

##### 1) 雪体験授業の企画・準備

・雪体験授業の企画立案、資料作成支援及び準備を行う。

##### 2) 雪体験授業の実施

・雪体験授業の実施に先立ち、事前打合せを行う。

・雪体験授業の運営として、準備補助、意見・質問の記録、授業実施状況の記録、スクールゾーン危険箇所マップの集約版の作成等、片付け補助などを行う。

・雪体験授業の実施に係る人数は3人（技師B、技師C、技術員各1名）を標準とし、人員が不足する場合は、雪体験授業実施補助員（技師C）を別途増員する。

##### 3) マップ作成（雪体験授業用）

・雪体験授業のマップ作りで使用する通学路線、除雪路線、信号などの主要施設等を網羅した通学区域の現況マップデータの作成を行う。

・マップの規格はA0判、縮尺は概ね1/500～1/1,000を標準とし、グループ数分を用意する。

##### 4) ニュースレター作成（マップ有）

・雪体験授業の実施後に、授業内容を小学校に報告・配布するためのニュースレター「冬みち通信（案）」を作成する。

##### 5) 雪体験授業実施補助員

・雪体験授業の運営として、人員が不足する場合に準備補助、意見・質問の記録、授業実施状況の記録、スクールゾーン危険箇所マップの集約版の作成やその他の体験授業の補助、片付け補助などを行う。

(2) 実施内容

- 1) 実施校、及び開催日時・場所等は、今後随時決定する。
- 2) 開催時間は、準備及び片付けを含めて概ね2時間とする。

(3) 成果の報告

- 1) 授業の記録や資料等を取りまとめ、報告書を作成する。
  - ・ 授業の記録等：グループごとの懇談内容、懇談状況、危険場所マップなど
  - ・ 資料等：業務で使用又は作成した資料、業務主任等との打合せ記録簿など
  - ・ 報告書は製本1部、CD2枚とする。

**【リーフレット作成】**

(1) 業務内容

1) リーフレット作成準備

- ・ 本市の気象状況や雪対策の現状などを市民と情報共有するためのリーフレットの内容について、企画立案を行う。

2) デザイン・レイアウト検討

- ・ イラストの作成を3点含む。
- ・ 印刷物の規格はA3判、両面1枚、カラー(4C)を標準とする。

4) 原稿作成

- ・ 簡易な装飾とレイアウト、作成の伴わないイラスト挿入を含む。
- ・ 印刷物の規格はA3判、両面1枚、カラー(4C)を標準とする。

5) 校正等

- ・ 装飾、レイアウト等の校正を行う。
- ・ 印刷物の規格はA3判、両面1枚、カラー(4C)を標準とする。